

令和7年度すみれ第二保育園自己評価表

凡例	A よい, B 一部検討を要する, C 改善を要する
----	----------------------------------

保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評 価			意見・改善策
		A	B	C	
保育目標について	1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○			・前年度の反省を生かし、乳幼児の実態を踏まえた保育目標になっている。 ・保育目標の具現化を図り、目標達成に向け、職員が連携しながら努めている。 ・職員会議やクラス会議を定期的に行い、職員の共通理解を図るよう努めた。 ・社会の要請や保護者の願いを反映できるように努めていきたい。
	2)目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	○			
	3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○		
	4)目標は、前年度の反省を生かしているか。	○			
	5)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○			
保育について	1)指導計画、乳幼児の実態に即して作成しているか。	○			・園の保育理念及び保育所保育指針を基に全体的な計画を立てている。 ・個々の成長・発達を大切に、保育の向上に努めている。 ・素材・用具を活用しやすいように常時、整理整頓に努めている。
	2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○			
	3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○			
	4)素材・用具を適切に活用しているか。	○			
	5)評価結果をもとに、保育の改善に努めているか。	○			
日程	1)1日の流れ(デイリープログラム等)は、現行でよいか。	○			・年度末に検討し現状に則して作成する。
行事について	1)行事の種類や実施回数は適切か。	○			・行事のあり方について検討を行い、種類や実施回数を見直しを行った。 ・計画・実施・評価・改善の体制を取るように、クラス会議で話し合いをもち、更に職員会議で検討を行い改善に努めた。 ・保護者の願いや意見を取り入れるように努力していく。
	2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○			
	3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○			
	4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○			
	5)保護者の願いや意見を取り入れているか。		○		

保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内容	評価			意見・改善策
			A	B	C	
運営・組織	分掌・体制	1)能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		・係や仕事の分担・割り当てが適切になるように努めた。 ・協力し合えるように、体制づくりに努めた。
		2)職務内容が明確で、協力し合える体制になっているか。	○			
		3)職員の配置は適材・適所か。	○			
		4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○			
	年齢別・クラス運営	1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			・定期的にクラス会議を行い、保育目標や重点目標について共通理解できるように努めた。 - また、職員会議で報告を行い全職員で共有するように努めている。 ・異年齢間での共通理解を図るため、連携の取り方の見直しを行っている。
		2)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○			
		3)年齢別・クラス目標に係る、短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○			
		4)同年齢及び異年齢間の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
		5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○		
		6)評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○			
	保健・安全指導	1)年齢別・クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○			・食物アレルギーや疾患等の情報や配慮事項を職員間で共有し、対応の見直しを行った際には、全職員に周知するよう努めた。 ・家庭・地域・関係機関との連携を強化していきたい。
		2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			
		3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため家庭への啓発を行っているか。	○			
		4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携をはかっているか。		○		
研究・研修	内部研修	1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○			・クラス会議内で、安全管理についての学びを深める機会を設けた。 ・定期的にセルフチェックリストを行い、適切に保育が行えるよう努めた。
		2)法人内研修、園内研修の計画・運営は適切か。	○			
		3)研究の成果を日常に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○			
		4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○			
	外部研修	1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			・勤務体制を整えて、オンライン研修や集合研修に参加する方向で進めてきた。研修後には研修報告を行っている。
		2)各種研究会、研修会、講習会での内容を全職員に伝えているか。	○			

項目		内容	評価			意見・改善策
			A	B	C	
情報について		1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○			・公文書の保管・管理は徹底している。 ・個人情報の管理を適正に取り扱うよう、全職員に注意喚起している。
		2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○			
		3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○			
施設・整備		1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			・施設内外の安全点検を行い、修繕が必要な個所があった場合には迅速に対応している。 ・遊具・用具の整理整頓に努めている。 ・メールでの配信に加え、掲示板も活用し、保護者の方に周知できる環境を整えている。
		2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○			
		3)不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。	○			
		4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○			
出納経理		1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			・税理士指導のもと行っている。
開かれた保育園づくり	施設間交流・連携	1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題にそったものになっているか。	○			・連携を図り理解を深めるために、県や市幼児保育課で実施される研修に参加し、情報共有するよう努めている。 ・小学校や他園と連絡を取り合い、交流をもつことができた。 ・日常的に情報を交換できるように考えていきたい。
		2)他施設等の幼児・児童生徒と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごした充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○			
		3)指導者同士が、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○		
		4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○		
		5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○	
	家庭・地域社会との連携	1)参観時間を制限せず、保護者以外も参観ができるようになっているか。			○	・感染症等に留意しながら、保護者や地域の皆様と共に子どもの成長を援助し、見守れるよう努めていきたい。 ・園見学は常時受け入れ、案内を行いながら、活動の様子を見ていただいている。
		2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○		
		3)乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
		4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○	

項目		内容	評 価			意見・改善策
			A	B	C	
開かれた保育園づくり	子育て支援の推進	1)地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。	○			・園児の保護者はもちろん、地域の子育て中の保護者に対して、子育て支援に努めている。 ・園庭開放を実施し、地域の子育て中の方が遊べる環境を提供している。 ・園庭解放を行っていることを知らせる機会や方法を増やしていきたい。
		2)地域に住む親子と一緒に遊ぶことのできるような場の設定を行っているか。		○		
		3)「子育てについて」等、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○	
		4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		5)茨城県・水戸市等の専門機関と連携を連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○			
	情報の発信	1)園だより等の配付物やホームページで施設の情報を発信しているか。	○			・ホームページで保育の様子を毎日更新している。情報管理に留意しながら今後も続けていく。
		2)行事や子育て支援事業等を、地域や他施設に周知しているか。	○			
	外部評価	1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○	・第三者評価は導入していない。今後の検討課題である。
		2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○			

記入者	職	園長
	氏名	中村宏子
記入日		令和8年3月31日